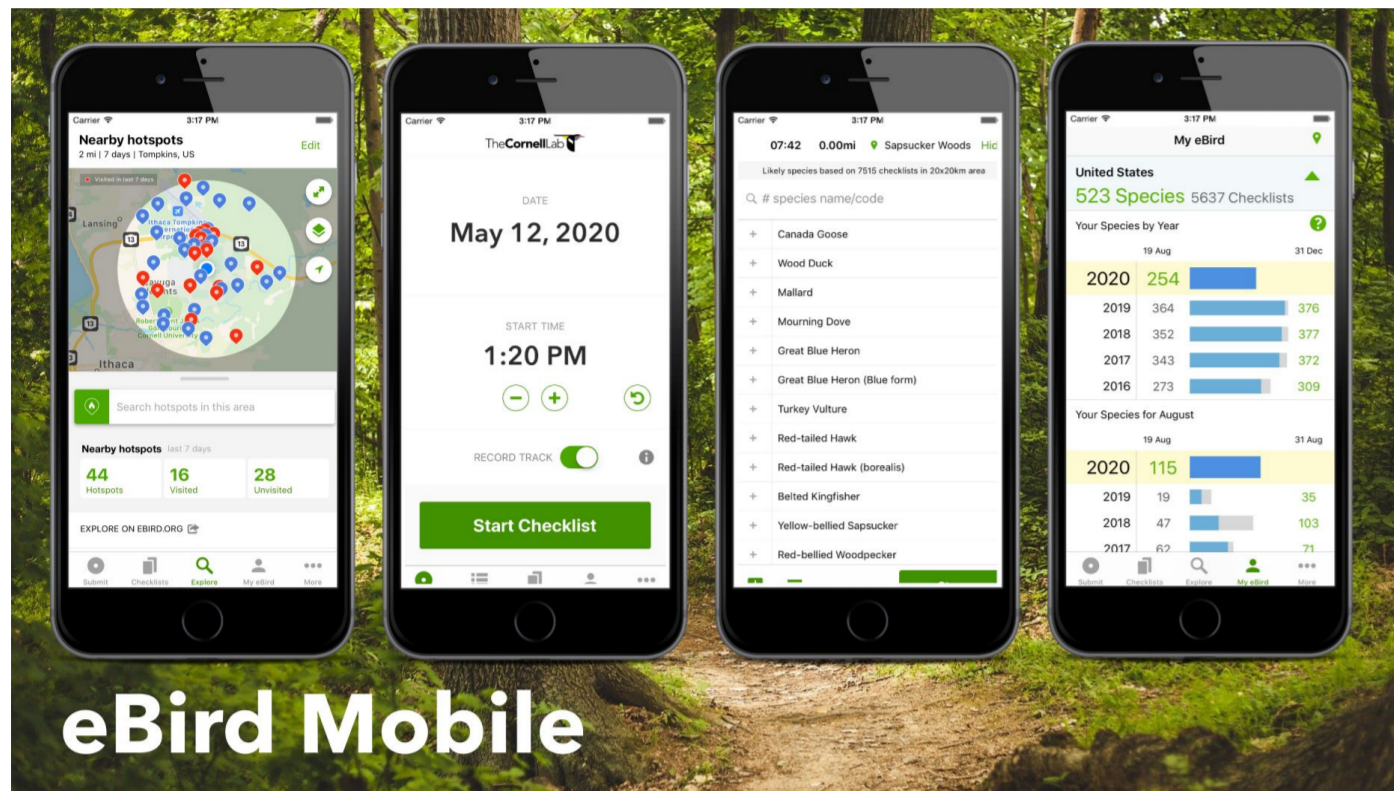


7班 おむらいす 遠藤ゆき 寺村凌成 山崎結月

はじめに

私たちは地球温暖化が深刻な問題となっている中で札幌市の野鳥にも大きく影響を与えていると考え、変化や予測できる今後の動きについて明確にするために探求をおこなった。

調査方法

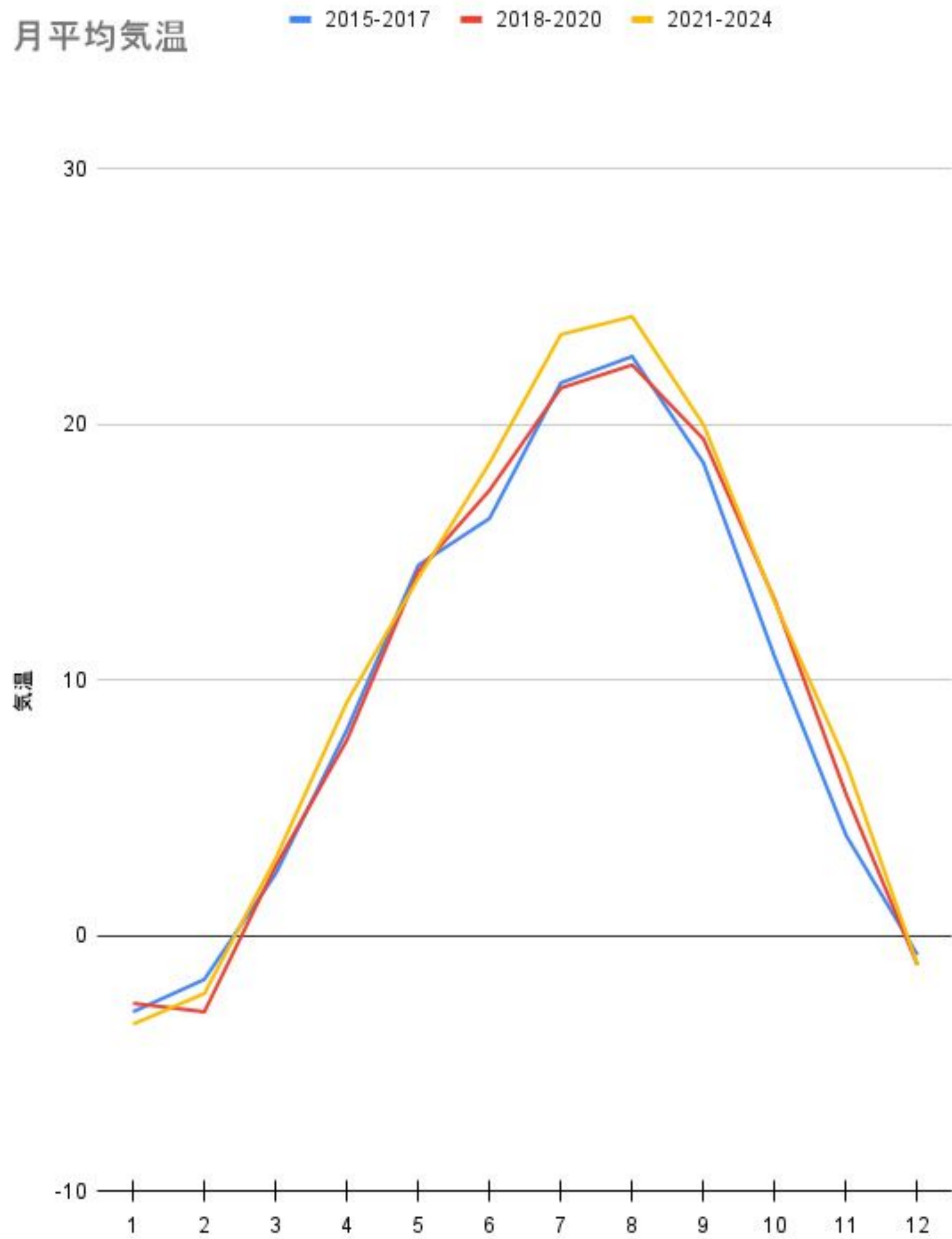


e-birdの過去のデータ→観察された野鳥の数を記録

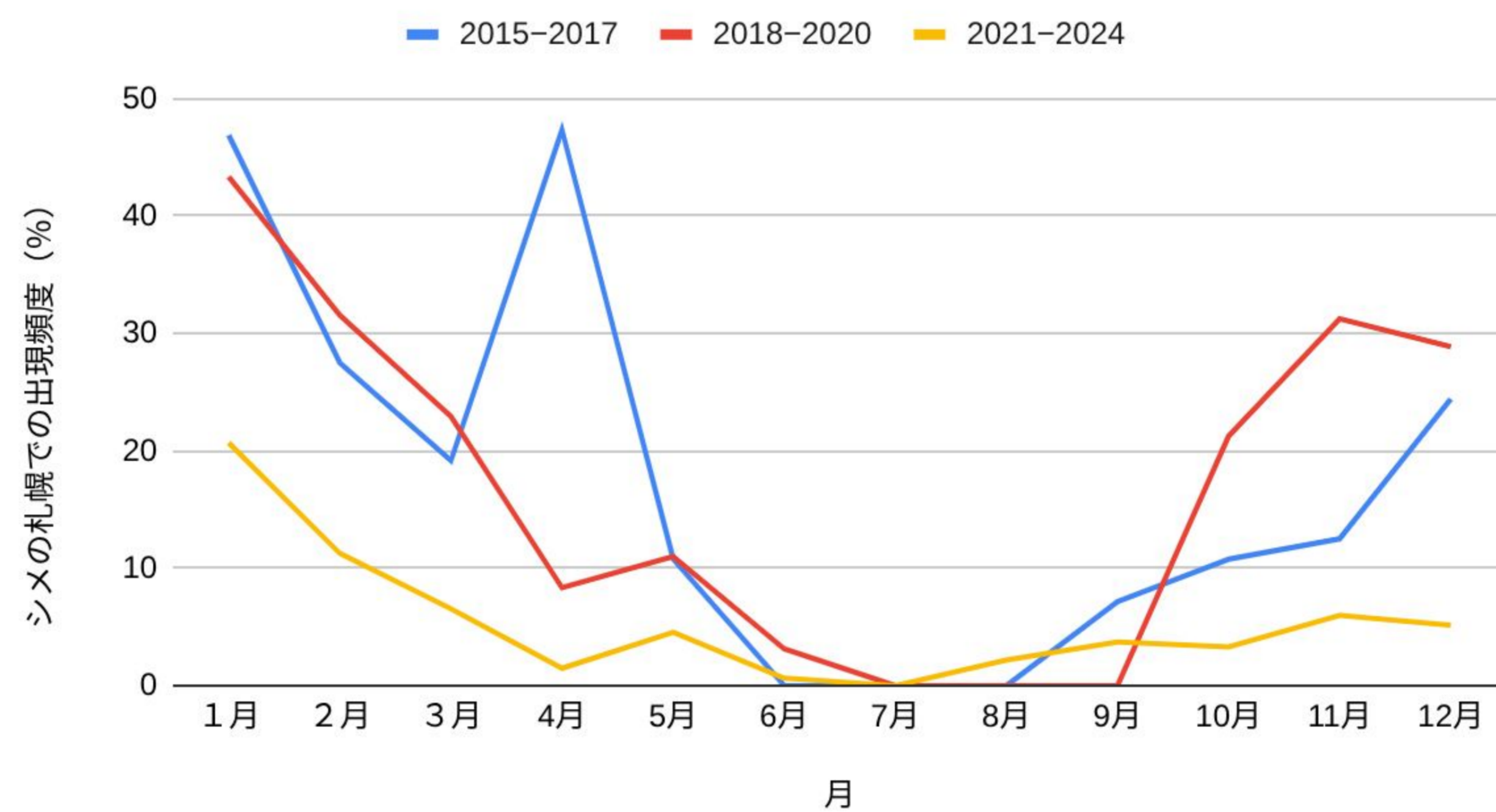
↓

AIに変化が大きい野鳥を選出→人間が確認→野鳥の種類決定

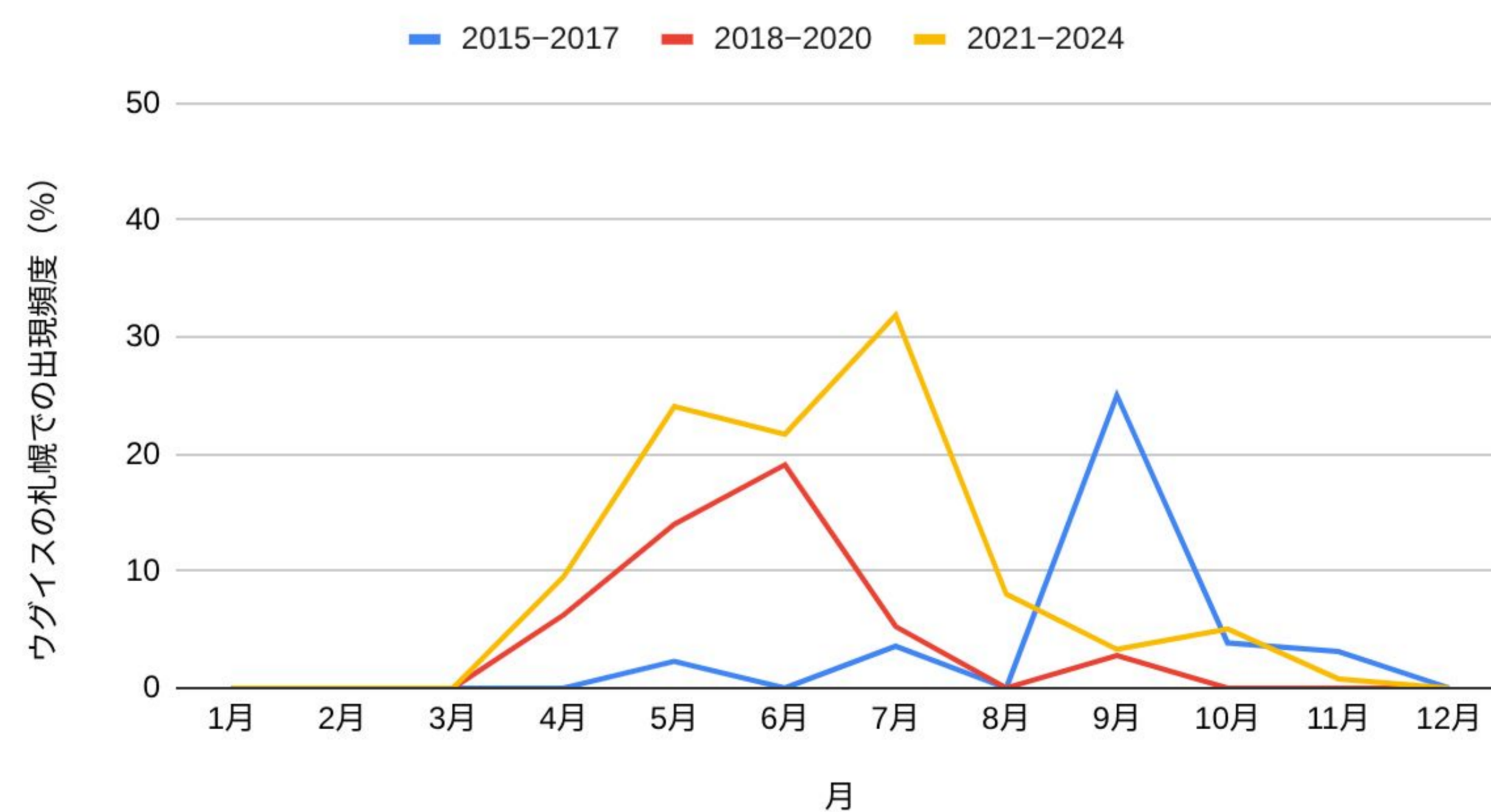
今回は確認された6種からウグイスとシメについてまとめた



シメの札幌での出現頻度



ウグイスの札幌での出現頻度



結果

札幌市で観察された野鳥のうち
2015-2024で見られる数が増加した夏鳥であるウグイス
減少した冬鳥であるシメの変化はグラフの通りであった

考察

2015-2024の中で気温は確実に上昇している。そして、夏に繁殖し、冬に暖地に移動するウグイスが増加し、冬鳥であるシメが減少している。これから地球温暖化は進行していくとされているため、札幌市ではウグイスの初鳴が早まったり、シメが見られなくなってしまうかもしれない。

まとめ

気温上昇によって、札幌市で観察できる野鳥は変化していることがわかった。これからも気温の上昇は続いていくと予想されているため、札幌で見られなく鳥が出てくるかもしれない。